# 令和７年度佐賀県特別支援教育研究会　総会及び研修会

令和７年６月３日（火）オンライン開催

１　開　　会　　１４：３０

２　会長挨拶　　佐賀県特別支援教育研究会会長　江頭　満江（武雄市立武雄北中学校校長）

３　議長選出

４　協　　議
（１）令和６年度業務報告（資料Ｐ６）
（２）令和６年度会計報告（資料Ｐ７，８）
（３）令和６年度会計監査報告
（４）令和７年度役員(案)（資料Ｐ９）
（５）令和７年度業務計画(案)審議（資料Ｐ１０）
（６）令和７年度予算(案)審議（資料Ｐ１１，１２）

５　連　　絡
（１）令和７年度以降の事業・輪番について（資料Ｐ１３～１６）
（２）県特研申し合わせ事項について（資料Ｐ１７～１９）
（３）負担金の納入について（資料Ｐ２０）
（４）県特研より推薦の表彰候補者について（資料Ｐ２１）
（５）機関誌「ともしび　その６７」について（資料Ｐ２２，２３）
（６）研究調査について（資料Ｐ２４，２５）
（７）アンケートについて（資料Ｐ２６）

６　研 修 会　　１５：００～１６：３０
（１）令和６年度研究調査報告
先進校視察報告　うれしの特別支援学校　大渕　栄一先生

（２）令和７年度九特連長崎大会プレ発表
提案①　第１分科会　各教科等の指導（小学校段階）
伊万里特別支援学校　山口 美里先生　松井 亜里更先生
提案②　第７分科会　発達障害への指導・支援
みやき町立中原中学校　待鳥　由布子先生
各提案後に質疑応答　※研修会後アンケートでも感想や質問を受ける

（３）謝　　辞

７　閉　　会　　１６：３０

# 佐賀県特別支援教育研究会　会則

（ 名 称・組 織 ）

第 １条　この会は、佐賀県特別支援教育研究会と称し、別に定める輪番で特別支援学校に事務局をおき、県内に支部をおく

第 ２条　支部は三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会とする。

第 ３条　この会は、特別支援教育を実施する学校及び特別支援教育について賛同し、研究しようとするものをもって組織する。

（ 目 的 ）

第 ４条　この会は、学校教育法に規定する障害のある児童生徒の教育について、その理論及び実際を研究し、特別支援教育の振興に寄与することを目的する。

（ 事 業 ）

第 ５条　この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

１　特別支援教育に関する研究会、講演会の開催
２　特別支援教育に関する研究発表及び資料交換
３　特別支援教育施設の視察研究
４　特別支援教育に関する世論の喚起
５　特別支援教育関係機関との連絡提携
６　その他特別支援教育振興に必要な事項

（ 役 員 ）

第 ６条　この会に次の役員をおく。

会長１名、副会長２名、理事（各市郡若干名、特別支援学校７名、難聴・言語障害教育研究会
１名、情緒障害教育研究会１名、ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会１名）、常任理事 10 名、監査２名、
幹事若干名。
会長が必要と認める場合は顧問若干名をおくことができる。
事務局校より庶務、会計等を担当する事務局担当者を若干名おく。

第 ７条　会長、副会長、監査は理事会において選出し、総会で承認をうけるものとする。

理事は、三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、各特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、
情緒障害教育研究会、ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会で選出する。
常任理事は三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、
情緒障害教育研究会、ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会単位に理事の中から１名選出する。
幹事及び顧問は会長がこれを委嘱する。

第 ８条　会長は本会を代表し、会務を統轄する。

副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
監査は本会の業務並びに会計を監査する。
幹事は会務を処理する。

第 ９条　役員の任期は１か年とする。ただし、再任を妨げない。

（ 会 合 ）

第１０条　この会の会議は総会及び幹事会、理事会、常任理事会とする。
会議は２分の１以上を以て成立し、議事は過半数をもって議決する。

第１１条　総会は年１回会長がこれを招集し、本会運営に関する下記の事項を決議する。

１　会則の変更
２　前年度決算並びに業務報告の承認
３　新年度事業並びに予算審議
４　役員の承認
５　その他重要事項

第１２条　理事会は総会に次ぐ決議機関であり、会長が必要と認めた場合及び理事の２分の１以上の要請があった場合会長がこれを招集する。
幹事会は、会の実務運営に関して検討・審議し、理事会に諮るものとする。
常任理事会は、会長が必要と認めた場合これを招集し、会の運営について審議する。

第１３条　不測の事態および非常事態等で会員が一堂に参集できない場合には、次の通り行う。

１　書面による審議の上、書面表決にて決議する。
２　議案の可決については提出された有効な書面のうち、賛成が過半数の場合に可決とする。

（ 会 計 ）

第１４条　この会の経費は、会費、その他をもってこれにあて、年度初めに納入するものとする。

第１５条　この会の会計年度は４月１日より翌３月 31 日までとする。

（附則）

１　この規約は昭和 34 年９月 19 日より実施する。
２　会則の一部改正　昭和 36 年６ 月 ７ 日
３　会則の一部改正　昭和 38 年６月 19 日
４　会則の一部改正　昭和 39 年６月 30 日
５　会則の一部改正　昭和 40 年７ 月 １ 日
６　会則の一部改正　昭和 41 年５月 20 日
７　会則の一部改正　昭和 42 年５月 24 日
８　会則の一部改正　昭和 44 年５月 22 日
９　会則の一部改正　昭和 49 年６ 月 ８ 日
10　会則の一部改正　昭和 51 年５月 27 日
11　会則の一部改正　昭和 52 年６ 月 ８ 日
12　会則の一部改正　昭和 54 年６月 11 日
13　会則の一部改正　平成 13 年５月 24 日
14　会則の一部改正　平成 14 年５月 28 日
15　会則の一部改正　平成 17 年５月 31 日
16　会則の一部改正　平成 19 年６ 月 ５ 日
17　会則の一部改正　平成 20 年５月 29 日
18　会則の一部改正　令和 ４年５月 24 日

（附記）

市町村合併に伴う会則の変更については、理事会での決議をもって対応することとする。

（内規）

佐賀県特別支援教育研究会会長は、２年毎に次の順番で持ち回りとする。

１　佐城地区　　２　特別支援学校　　３　三神地区　　４　特別支援学校
５　唐津地区　　６　特別支援学校　　７　伊西地区　　８　特別支援学校
９　杵武地区　　10　特別支援学校　　11　鹿嬉藤地区　　12　特別支援学校
13　附属特別支援学校

（内規の変更）

佐賀県特別支援教育研究会会長は、平成３１年度（西暦２０１９年度）を基点として、２年毎に次の順番で持ち回りとする。なお、特別支援学校に変動があった場合は、再考するものとする。

| （事務局校） | | （事務局校） | |
|---|---|---|---|
| ~~うれしの特別支援学校~~ | ~~⇒伊西地区~~ | ⇒大和特別支援学校 | ⇒杵武地区 |
| ⇒中原特別支援学校 | ⇒三神地区 | ⇒唐津特別支援学校 | ⇒附属特別支援学校 |
| ⇒伊万里特別支援学校 | ⇒伊西地区 | ⇒うれしの特別支援学校 | ⇒鹿嬉藤地区 |
| ⇒大和特別支援学校 | ⇒佐城地区 | ⇒中原特別支援学校 | ⇒三神地区 |
| ⇒唐津特別支援学校 | ⇒唐津地区 | ⇒伊万里特別支援学校 | ⇒伊西地区 |
| ⇒うれしの特別支援学校 | ⇒杵武地区 | ⇒大和特別支援学校 | ⇒三神地区 |
| ⇒中原特別支援学校 | ⇒佐城地区 | ⇒唐津特別支援学校 | ⇒附属特別支援学校 |
| ⇒伊万里特別支援学校 | ⇒ | | |

# 佐賀県特別支援教育研究会（県特研）の概要について

1　組織について　　※会則参照

（1）会員について

会則第３条：この会は、特別支援教育を実施する学校及び特別支援教育について賛同し、研究しようとするものをもって組織する。

→ 特別支援学級、通級指導教室設置学校、特別支援学校の教職員

（2）組織構成について

全日本特別支援教育研究連盟（全特連）

｜

九州地区特別支援教育研究連盟（九特連）

※ 他に北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中四国地区

｜

佐賀県特別支援教育研究会（県特研）

｜

支部：三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤

特別支援学校：大和、唐津、うれしの、伊万里、附属、金立、中原

研究会：佐賀県難聴・言語障害教育研究会（佐難言）

佐賀県情緒障害教育研究会（佐情研）

佐賀県ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会

（3）役員について

① 理事：各市郡若干名、各特別支援学校、各研究会より１名ずつ
現行は１２地区、３研究会の代表の校長先生、７校の特別支援学校の校長先生の計２２名

② 常任理事：各支部、特別支援学校、各研究会より１名ずつ（１０名）

③ 幹事：若干名（現行は各支部、各特別支援学校、各研究会より教諭１名ずつの１６名）

④ 会長１名、副会長２名、監査２名

⑤ 事務局：事務局長１名、会計１名、幹事（庶務）１名の計３名

2　主な業務について

（1）主催事業等

①理事研修会：年２回（５月、１月）

②幹事研修会：年５回（５月２回、７月、１０月、１月）＊Ｒ２年より

③総会及び研修会（５月）

④夏季研究大会（８月）：講演と５つの分科会
（小学校、中学校、特別支援学校、佐情研、ＬＤ・ＡＤＨＤ等研）

⑤機関誌「ともしび」発刊（２～３月）

⑥佐賀県内特別支援学校及び特別支援学級設置校名一覧（設置校一覧）作成（６月）

（2）共催事業

①障がい児（者）の教育・福祉・就労研修佐賀県大会（７月～８月）
（佐賀県手をつなぐ育成会主催）

②新年情報交換会（１月）
佐賀県手をつなぐ育成会、佐賀県知的障害者福祉協議会、佐賀県特別支援教育研究会、佐賀県社会就労センター協議会の四者共催　（主管は県特研）

（３）関連大会
① 全日本特別支援教育研究連盟全国大会：全体会及び分科会
・全体会：開会式、表彰式（功労賞及び研究奨励賞）、研究発表２本、行政説明、基調報告、記念講演
・分科会：公開授業、18 ～ 25 の分科会（提案２本）
・佐賀県：４年に１回程度提案
② 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会：全体会及び分科会
・全体会：開会式、総会、中央情勢報告、記念講演
・分科会：公開授業、７つの分科会（提案３本）
・佐賀県：毎年提案者２名、司会者１名、助言者１名
※ 佐賀県開催の場合、佐賀県への従来の割り当てに加え、７つの分科会に提案者、助言者、司会者、記録者等を出す。
③ 加盟各研究会の大会

３　運営費用について
（１）負担金　　会員校より　１校当たり　１，９５５円（平成 26 年度）
（２）補助金　　県より　６０，０００円
（３）その他　　特別会計について

令和　６年度　佐賀県特別支援教育研究会　業務報告

| 事業名 | 期日 | 業務内容 | 会場等 |
|---|---|---|---|
| ・第１回<br>運営委員会 | ４月１８日（木）<br>15:00～16:30 | ・第１回理事・幹事研修会に向けての打ち合わせ | 大和特別支援学校<br>（佐賀市大和町大字久留間） |
| ・事務局会 | ４月２５日（木）<br>15:30～16:30 | ・九情研九特連佐賀大会に向けての打ち合わせ<br>（県特研と佐情研） | 大和特別支援学校<br>（佐賀市大和町大字久留間） |
| ・第１回<br>幹事研修会<br>・第１回<br>理事研修会 | ４月３０日（火）<br>13:30～15:00 | ・令和５年度業務・会計報告、監査報告<br>・令和６年度役員選出<br>・令和６年度業務計画案・予算案について<br>・令和６年度表彰候補者推薦について<br>・令和６年度九情研九特連佐賀大会について　　・その他 | ホテルグランデはがくれ<br>（佐賀市天神2-1-36<br>TEL 0952-25-2212） |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>実行委員会① | ４月３０日（火）<br>15:00～16:30 | ・担当理事、幹事等の氏名確認、顔合わせ<br>・今年度のスケジュール確認<br>・活動計画、仕事分担 | |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>実行委員会② | ５月１４日（火）<br>15:00～16:30 | ・参加申し込みについて<br>・分科会関係者<br>・購入品・経費等希望調査等 | メートプラザ<br>（佐賀市兵庫北3-8-40<br>TEL 0952-33-0003） |
| ・九特連佐賀大会<br>評議員会① | ５月２３日（木）<br>15:15～16:45 | ・九特連佐賀大会に向けての打ち合わせ<br>（会長、副会長、事務局長が参加） | 各所（オンライン開催） |
| ・第２回<br>幹事研修会 | 総会がリモート開催<br>のため実施しない | ・総会準備　　その他 | |
| ・総会<br>及び研修会 | ５月３０日（木）<br>15:00～16:30 | 〔総会〕<br>・会長挨拶<br>・Ｒ６年度役員案<br>・Ｒ５年度業務、会計報告、監査報告<br>・Ｒ６年度業務計画案、予算案、審議<br>・Ｒ６年度九情研九特連佐賀大会について　　・その他<br>〔研修会〕<br>令和６年度九情研九特連佐賀大会　プレ発表<br>九特連大会　第３分科会　赤間　準　先生（江北町立江北中学校）<br>九情研大会　第７分科会　石井　彩　先生（神埼市立千代田中部小学校） | 大和特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催 |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>実行委員会③ | ６月１１日（火）<br>15:00～16:30 | ・大会前日、当日について<br>・関係者会打ち合わせについて<br>・第２次案内について | メートプラザ<br>（佐賀市兵庫北3-8-40<br>TEL 0952-33-0003） |
| ・研究調査 | ６月～７月 | 佐賀県内特別支援学校名及び特別支援学級設置校名一覧作成 | 大和特別支援学校 |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>分科会関係者会 | ６月２４日（月）<br>～２８日（金） | ・顔合わせ<br>・分科会の流れの確認<br>・質疑　他 | 大和特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催 |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>実行委員会④ | ７月２日（火）<br>14:00～15:30 | ・オンライン視聴について<br>・事前準備<br>・業務報告について | ホテルグランデはがくれ<br>（佐賀市天神2-1-36<br>TEL 0952-25-2212） |
| ・第３回<br>幹事研修会 | ７月２日（火）<br>15:30～16:30 | ・「総会及び研修会」の反省<br>・「第６５回障がい児（者）の教育、福祉、就労研修佐賀県大会」について　・その他 | |
| ・九特連佐賀大会<br>評議員会② | ７月１８日（木）<br>15:15～16:45 | ・九特連佐賀大会に向けての打ち合わせ<br>（会長、副会長、事務局長が参加） | 各所（オンライン開催） |
| ・研修会 | ７月２８日（日） | 第６５回障がい児（者）の教育・福祉・就労研修佐賀県大会<br>感謝状受賞者推薦５名：<br>三神地区、佐城地区、伊万里特別支援、中原特別支援、金立特別支援<br>役員：会長、副会長、記録、受付、保育など | 西部地区<br>鹿島市民文化ホール（サクラス） |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>前日準備 | ８月１日（木）<br>13:00～17:00 | ・会場設定<br>・分科会打ち合わせ<br>・機材動作確認　他 | ホテルグランデはがくれ<br>（佐賀市天神2-1-36<br>TEL 0952-25-2212） |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会 | ８月２日（金）<br>9:30～16:00 | ・主題　「共生社会の中で自分らしく主体的に活動する子どもの育成を目指して」<br>・講演演題「これからの特別支援教育を担う教職員に求められる資質や専門性とは何か」<br>講師：帝京平成大学　人文社会学部　児童学科<br>教授　田中　良広　氏<br>・第２分科会　各教科等の指導（中学校・高等学校段階）<br>司会者：森　久美子　先生　（伊万里特別支援学校）<br>指導助言者：久野　隆裕　先生　（西九州大学）<br>・第３分科会　各教科等を合わせた指導<br>提案者：赤間　　準　先生　（江北町立江北中学校）<br>司会者：梶原　康子　先生　（唐津特別支援学校）<br>指導助言者：松園　奈津子　先生　（西部教育事務所）<br>・第４分科会　キャリア教育・進路指導<br>司会者：中林　善朗　先生　（中原特別支援学校）<br>指導助言者：園田　洋平　先生　（県特別支援教育室）<br>・第６分科会　自閉スペクトラム症<br>指導助言者：牟田　孝子　先生　（佐賀女子高等学校）<br>・第７分科会　自閉スペクトラム症<br>提案者：石井　　彩　先生　（神埼市立千代田中部小学校）<br>提案者：井手　俊宏　先生　（佐賀市立北川副小学校）<br>指導助言者：芳野　正昭　先生　（佐賀大学）<br>・第８分科会　ＬＤ，ＡＤＨＤ<br>指導助言者：日野　久美子　先生　（西九州大学） | ホテルグランデはがくれ<br>（佐賀市天神2-1-36<br>TEL 0952-25-2212） |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>実行委員会⑤ | １０月１７日（木）<br>14:30～15:30 | ・佐賀大会の総括及び反省のまとめ<br>・大会集録について<br>・引継ぎ資料作成について | 佐賀市立図書館　大集会室<br>（佐賀市天神3-２-１５<br>TEL 0952-40-0001） |
| ・第４回<br>幹事研修会 | １０月１７日（木）<br>15:30～16:30 | ・上期運営の反省<br>・機関紙「ともしび　その６６」編集・刊行について　　・その他 | |
| ・第６３回<br>全特連全国大会<br>「福井大会」 | 11月21日（木）<br>～２２日（金） | ・主題「変化する社会の中で　自分らしさを生かし　生き生きと輝く子どもたち」<br>～教育的ニーズに基づいた　一人一人の育ちを求めて～<br>・記念講演演題：「一人一人が自分を表現できる未来へ」<br>講師：前田 鎌利 氏（書家／プレゼンテーションクリエイター）<br>・第６分科会　通常の学級における合理的配慮<br>提案者：伊万里市立二里小学校<br>教諭　河上　美穂　先生 | フェニックスプラザ<br>（福井市田原１丁目１３－６）<br>ＡＯＳＳＡ<br>（福井市手寄１丁目４－１） |
| ・九特連事務局<br>引継ぎ | １２月１８日（水） | ・九特連長崎事務局との引き継ぎ | 佐世保特別支援学校 |
| ・第２回<br>運営委員会 | １２月２０日（金）<br>15：00～16：30 | ・第２回理事・第５回幹事研修会に向けての打ち合わせ | 大和特別支援学校 |
| ・九情研九特連<br>佐賀大会<br>実行委員会⑥ | １月１０日（金）<br>14:00～15:00 | ・各部反省の報告<br>・引き継ぎ事項の確認<br>・会計報告について | アバンセ<br>（佐賀市天神3-2-11<br>TEL 0952-26-0011） |
| ・第２回<br>理事研修会<br>・第５回<br>幹事研修会 | １月１０日(金)<br>15:00～16:30 | ・令和　６年度業務・会計に関する中間報告<br>・令和　７年度業務計画・予算案について<br>・機関誌「ともしび その６６」の発刊　　・その他 | |
| ・新年情報交換会 | １月１０日(金)<br>19:00～21:00 | ・県特研、手をつなぐ育成会、知的障害者福祉協会、社会就労センター協議会の四者共催 | ホテルマリターレ創世<br>（佐賀市神野東2-5-15<br>TEL 0952-33-5511） |
| ・九特連事務局<br>引継ぎ | ２月 | ・九特連長崎事務局との引き継ぎ | |
| ・会計監査 | ３月下旬 | ・令和６年度会計監査 | 大和特別支援学校 |

令和６年度　佐賀県特別支援教育研究会　一般会計　**収支決算報告書**

1　収入の部　（単位：円）

| 区　分 | 予算額ａ | 収入額ｂ | 増減額ｂ－ａ | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 負担金 | 441,830 | 441,830 | 0 | 1,955 円×　226 校=　441,830 |
| 県費補助金 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 活動補助費 | 170,000 | 170,000 | 0 | 特別会計より繰入 |
| 雑収入 | 0 | 161 | 161 | 銀行利息等 |
| 繰越金 | 145,173 | 145,173 | 0 | Ｒ５年度残金 |
| 計 | 817,003 | 817,164 | 161 | |

2　支出の部

| 区　分 | | 予算額ａ | 支出額ｂ | 残額ａ－ｂ | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 研究大会及び研修会 | 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | 総会講師等　0<br>九特連佐賀大会　0 |
| | 旅費 | 3,000 | 2,240 | 760 | 総会　3,000<br>九特連佐賀大会　0 |
| | 資料費 | 5,000 | 0 | 5,000 | 総会　5,000<br>九特連佐賀大会　0 |
| | 賃借料 | 160,000 | 165,290 | △ 5,290 | 総会、理事・幹事会会場　30,000<br>九特連佐賀大会　130,000 |
| | 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 会議費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 消耗品費 | 6,000 | 1,800 | 4,200 | 総会、理事・幹事会等　6,000<br>九特連佐賀大会　0 |
| | 通信運搬費 | 20,000 | 7,381 | 12,619 | 切手代・通信代 |
| | 小計 | 194,000 | 176,711 | 17,289 | |
| 研究調査 | 諸謝金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 旅費 | 120,000 | 120,000 | 0 | 特別会計より120,000繰入<br>旅費53,340　残額66,660は特別会計へ戻入 |
| | 資料費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 賃金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 会議費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 小計 | 120,000 | 120,000 | 0 | |
| 研究成果刊行 | 旅費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 資料費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 印刷製本費 | 170,000 | 153,296 | 16,704 | 「ともしび」印刷費 |
| | 会議費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 通信運搬費 | 60,000 | 2,560 | 57,440 | 切手代・通信代 |
| | 小計 | 230,000 | 155,856 | 74,144 | |
| 研究図書購入 | 資料費 | 5,000 | 3,650 | 1,350 | 職員録 |
| | 図書購入費 | 5,000 | 2,000 | 3,000 | 全特連「福井大会」大会集録 |
| | 小計 | 10,000 | 5,650 | 4,350 | |
| 計 | | 554,000 | 458,217 | 95,783 | |
| 負担金 | 九特連負担金 | 50,000 | 48,150 | 1,850 | |
| | 全特連負担金 | 150,000 | 135,167 | 14,833 | |
| | スポーツ協会費 | 6,000 | 5,220 | 780 | |
| | 小計 | 206,000 | 188,537 | 17,463 | |
| 大会補助 | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務予備費 | | 57,003 | 37,630 | 19,373 | |
| 合計 | | 817,003 | 684,384 | 132,619 | |

※九特連負担金　特別支援・通級の学級数が４以下設置の学校　291×150円＝43,650円
　特別支援・通級の学級数が５以上と知的障害特別支援学校数　6×750円＝ 4,500円　計48,150円
　~~振込手数料660円　合計48,660円~~（R6年度は佐賀県に事務局があったため振込手数料なし）
※全特連分担金　佐賀県下学級数　539×250円＝134,750円　振込手数料417円　合計135,167円
　Ｒ５実績で計算

収入合計－支出合計＝残額
817,164－684,384＝132,780

3　**次年度繰り越し金**
132,780円を次年度へ繰り越します。

令和６年度佐賀県特別支援教育研究会一般会計について、証拠書類、預金通帳並びに会計簿を照合検査した結果、適正に処理されていることを認め、報告いたします。

令和７年３月 17 日

監査委員
佐賀市立川上小学校　校長　吉田まり子

佐賀市立小中一貫校　松梅校　校長　澁谷健

令和６年度　佐賀県特別支援教育研究会　特別会計　**収支決算報告書**

**1　収入の部**　　（単位：円）

| 区　　分 | 予算額ａ | 収入額ｂ | 増減額ｂ－ａ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 繰　越　金 | 3,690,423 | 3,690,423 | 0 | 令和５年度特別会計より |
| | 0 | 79,227 | 79,227 | 九州地区特別支援教育研究連盟より（大会残金） |
| 雑　収　入 | 30 | 592 | 562 | 銀行利息 |
| 合　　計 | 3,690,453 | 3,770,242 | 79,789 | |

**2　支出の部**

| 区　　分 | | 予算額ａ | 支出額ｂ | 残額ａ－ｂ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 研究研修会 | 旅費 | 200,000 | 263,580 | △ 63,580 | 全特連第１回理事・評議員研究協議会<br>旅費（小野会長） 75,680<br>九特連・九情研＜佐賀大会＞<br>県内分科会関係者旅費（提案・司会・助言） 21,800<br>全特連大会（福井県）<br>派遣旅費（小野会長） 78,000<br>派遣旅費（提案者） 79,100<br>参加費（会長、提案者２名分） 9,000 |
| 活動補助 | | 50,000 | 50,000 | 0 | 運営補助として（一般会計へ繰入） |
| 研究調査 | 旅費 | 120,000 | 53,340 | 66,660 | 先進校視察旅費、研修会等参加費として120,000円一般会計へ繰入<br>視察旅費（大分支援学校、由布支援学校）53,340円　※残額66,660円一般会計より戻入 |
| 九特連佐賀大会 | 積立金 | 1,207,028 | 1,207,028 | 0 | 佐賀大会に向けた積立金　前回大会（H28）残金<br>※Ｒ６九州地区特別支援教育研究連盟へ繰入 |
| | | 350,000 | 350,000 | | 佐賀大会に向けた積立金　（R2）積立<br>※Ｒ６九州地区特別支援教育研究連盟へ繰入 |
| | 準備金 | 100,000 | 44,260 | 55,740 | 九特連・九情研＜佐賀大会＞<br>実行委員会会場賃借料　等 |
| | 運営補助 | 700,000 | 654,000 | 46,000 | 九特連・九情研＜佐賀大会＞<br>実行委員等　参加費（3,000円×130名）<br>県内職員参加者　参加費補助（1,000円×264名） |
| 合　　計 | | 2,727,028 | 2,622,208 | 104,820 | |

収入合計　－　支出合計　＝　残額
3,770,242　－　2,622,208　＝　1,148,034

**3　次年度繰り越し金**
1,148,034円を次年度へ繰り越します。

令和６年度佐賀県特別支援教育研究会特別会計について、証拠書類、預金通帳並びに会計簿を照合検査した結果、適正に処理されていることを認め、報告いたします。

令和７年３月 17 日

監査委員
佐賀市立川上小学校　　校長　吉田まりか

佐賀市立小中一貫校　松梅校　校長　澁谷 健

令和7年度　佐賀県特別支援教育研究会役員（案）　　◎：常任理事

| 役職名 | | | | 氏名 | 勤務校 | 電話番号 | ＦＡＸ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三神 | 鳥栖・基山 | | 理事 | 城戸幸一 | 基山町立若基小学校 | 0942-92-0410 | 92-8006 |
| | 神埼市・郡 | | 理事 | ◎ 坂口博之 | 神埼市立千代田中部小学校 | 0952-44-2005 | 44-3794 |
| | 三養基郡 | | 理事 | 大家淳子 | みやき町立中原小学校 | 0942-94-2044 | 94-2896 |
| | | | 幹事 | 石井彩 | 神埼市立千代田中部小学校 | 0952-44-2005 | 44-3794 |
| 佐城 | 佐賀市小学校 | | 理事 | 小田島ひとみ | 佐賀市立日新小学校 | 0952-24-4261 | 24-4262 |
| | 佐賀市中学校 | | 理事 | ◎ 青柳正文 | 佐賀市立鍋島中学校 | 0952-30-5811 | 30-5812 |
| | 小城・多久 | | 理事 | 高山健 | 小城市立晴田小学校 | 0952-73-3226 | 71-1059 |
| | | | 幹事 | 山田泰史 | 佐賀市立鍋島中学校 | 0952-30-5811 | 30-5812 |
| 唐津 | | | 理事 | ◎ 古川雅 | 唐津市立西唐津小学校 | 0955-72-3165 | 72-3167 |
| | | | 幹事 | 石丸智恵 | 唐津市立外町小学校 | 0955-73-1161 | 73-7489 |
| 伊西 | | | 理事 | ◎ 松本成浩 | 伊万里市立大坪小学校 | 0955-23-6148 | 23-6149 |
| | | | 幹事 | 前田美紀子 | 伊万里市立南波多郷学館 | 0955-24-2007 | 24-2006 |
| 杵武 | 武雄市 | | 理事 | ◎ 江頭満江 | 武雄市立武雄北中学校 | 0954-27-2004 | 27-2009 |
| | 杵島郡 | | 理事 | 白濱正博 | 白石町立六角小学校 | 0954-84-2009 | 84-5569 |
| | | | 幹事 | 中島茂樹 | 武雄市立武雄北中学校 | 0954-27-2004 | 27-2009 |
| 鹿嬉藤 | 鹿島・太良 | | 理事 | ◎ 森義孝 | 太良町立大浦中学校 | 0954-68-2029 | 68-3690 |
| | 嬉野市 | | 理事 | 橘本澄子 | 嬉野市立五町田小学校 | 0954-66-2063 | 66-2322 |
| | | | 幹事 | 川島千宙 | 太良町立大浦中学校 | 0954-68-2029 | 68-3690 |
| 佐賀県<br>難聴・言語障害教育研究会 | | | 理事 | ◎ 田代豊樹 | 多久市立東原庠舎中央校 | 0952-75-2516 | 74-3972 |
| | | | 幹事 | 滝沢綾 | | | |
| 佐賀県<br>情緒障害教育研究会 | | | 理事 | ◎ 福田啓子 | 武雄市立東川登小学校 | 0954-23-2905 | 23-2911 |
| | | | 幹事 | 松浦佳奈恵 | | | |
| 佐賀県<br>ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会 | | | 理事 | ◎ 石橋佳樹 | 白石町立北明小学校 | 0952-84-2240 | 84-5356 |
| | | | 幹事 | 井元智美 | 大町町立大町ひじり学園 | 0954-82-3341 | 82-3248 |
| 特別支援学校 | 金立 | | 理事 | 河野健治 | 佐賀県立<br>金立特別支援学校 | 0952-98-1135 | 71-8001 |
| | | | 幹事 | 中尾信義 | | | |
| | 唐津 | | 理事 | 柿原章男 | 佐賀県立<br>唐津特別支援学校 | 0955-78-2394 | 70-3350 |
| | | | 幹事 | 福山祐香 | | | |
| | 大和 | | 理事 | 竹田敬道 | 佐賀県立<br>大和特別支援学校 | 0952-62-1221 | 51-2009 |
| | | | 幹事 | 古賀恭子 | | | |
| | 伊万里 | | 理事 | 藤田和康 | 佐賀県立<br>伊万里特別支援学校 | 0955-23-8554 | 20-1005 |
| | | | 幹事 | 溝口由加利 | | | |
| | 中原 | | 理事 | ◎ 田代孝 | 佐賀県立<br>中原特別支援学校 | 0942-94-3575 | 81-8002 |
| | | | 幹事 | 黒木美帆 | | | |
| | 附属 | | 理事 | 大川和広 | 佐賀大学教育学部<br>附属特別支援学校 | 0952-29-5045 | 28-3850 |
| | | | 幹事 | 池田桃子 | | | |
| | うれしの | | 理事 | 髙橋正司 | 佐賀県立<br>うれしの特別支援学校 | 0954-66-4911 | 66-4936 |
| | | | 幹事 | 田澤明日香 | | | |
| 事務局 | 会長 | 杵武 | | 江頭満江 | 武雄市立武雄北中学校 | 0954-27-2004 | 27-2009 |
| | 副会長 | 三神 | | 坂口博之 | 神埼市立千代田中部小学校 | 0952-44-2005 | 44-3794 |
| | | 中原特支 | | 田代孝 | 佐賀県立中原特別支援学校 | 0942-94-3575 | 81-8002 |
| | 事務局長 | 中原特支 | | 梶原ミサ | 佐賀県立中原特別支援学校 | 0942-94-3575 | 81-8002 |
| | 会計 | | | 河野麻美 | | | |
| 監査 | | | | 吉岡功太郎 | みやき町立北茂安小学校 | 0942-89-2123 | 89-2169 |
| | | | | 川原文 | みやき町立中原中学校 | 0942-94-2038 | 94-2897 |

令和　７年度　佐賀県特別支援教育研究会　業務計画（案）

| 事業名 | 期日 | 業務内容 | 会場等 |
|---|---|---|---|
| ・第１回<br>運営委員会 | ４月２５日（金）<br>15:00～16:30 | ・第１回理事・幹事研修会に向けての打ち合わせ | 中原特別支援学校<br>（みやき町大字原古賀） |
| ・第１回<br>幹事研修会<br>・第１回<br>理事研修会 | ５月８日（木）<br>15:00～16:30 | ・令和６年度業務・会計報告、監査報告<br>・令和７年度役員選出<br>・令和７年度業務計画案・予算案について<br>・令和７年度表彰候補者推薦について<br>・令和７年度九特連長崎大会について<br>・その他 | アバンセ<br>（佐賀市天神3-2-11<br>TEL 0952-26-0011） |
| ・九特連長崎大会<br>評議員会① | ５月２２日（木） | ・令和６年度業務・会計報告、監査報告<br>・九特連長崎大会について（令和７年度業務計画・予算案・大会日程等）<br>（会長、副会長、事務局長が参加） | 各所（オンライン開催） |
| ・第２回<br>幹事研修会 | 総会がリモート開催<br>のため実施しない | ・総会準備　　その他 | |
| ・総会<br>及び研修会 | ６月３日（火）<br>14:30～16:30 | 〔総会〕<br>・会長挨拶<br>・Ｒ７年度役員案<br>・Ｒ６年度業務、会計報告、監査報告<br>・Ｒ７年度業務計画案、予算案、審議<br>その他<br>〔研修会〕<br>・研究調査報告　先進校視察（うれしの特別支援学校）<br>・九特連長崎大会プレ発表　（中原中学校・伊万里特別支援学校） | 中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催 |
| ・研究調査 | ６月～７月 | 佐賀県内特別支援学校名及び特別支援学級設置校名一覧作成 | 中原特別支援学校 |
| ・九特連長崎大会<br>評議員会② | ７月１０日（木） | ・九特連長崎大会に向けての打ち合わせ<br>（会長、副会長、事務局長が参加） | 各所（オンライン開催） |
| ・第３回<br>幹事研修会 | ７月２２日（火）<br>15:00～16:30 | ・「総会及び研修会」の反省<br>・「第６６回障がい児（者）の教育、福祉、就労研修佐賀県大会」について<br>・その他 | 中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催 |
| ・研修会 | ７月２７日（日） | 第６６回障がい児（者）の教育・福祉・就労研修佐賀県大会<br>感謝状受賞者推薦５名：<br>伊西地区、杵武地区、大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援<br>役員：副会長、記録、受付、保育など | 北部地区（伊万里市）<br>伊万里市民センター<br>（伊万里市松島町391－１） |
| ・第５９回<br>九特連長崎大会 | ８月１日（金）<br>9:30～16:20 | ・主題　「共生社会の中で多様な子供の可能性を引き出す特別支援教育の推進<br>～学びの連続性と学びの場の充実に向けて～」<br>・講演演題：「多様な子供へのキャリア発達支援と評価<br>～キャリアパスポートの活用を通して～(仮)」<br>講師：弘前大学　教職大学院<br>教授　菊地　一文　氏<br>・第１分科会　各教科等の指導（小学校段階）<br>提案者：　伊万里特別支援学校　山口 美里先生　松井 亜里更先生<br>司会者：　中原特別支援学校　梶原 ミサ<br>指導助言者：　佐賀県教育振興課特別支援教育室<br>・第７分科会　発達障害への支援<br>提案者：みやき町立中原中学校　待鳥　由布子先生 | アルカスＳＡＳＥＢＯ<br>（佐世保市三浦町2-3<br>TEL 0956-42-1111） |
| ・第４回<br>幹事研修会 | １０月１６日（木）<br>15:00～16:30 | ・上期運営の反省<br>・機関紙「ともしび　その６７」編集・刊行について<br>・その他 | 中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催 |
| ・第６４回<br>全特連全国大会<br>「北海道大会」 | １０月２３日（木）<br>～２４日（金） | ・主題<br>「特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して」<br>・記念講演演題：（仮）「一人一人の良さや強みを生かした、子供主体の学びの実現」<br>～一人一人に合った学びの場や授業づくり～<br>講師：広島都市学園大学　教授　竹林地　毅　様 | カナモトホール<br>（札幌市中央区北１条１丁目）<br>ホテルライフォート札幌<br>（札幌市中央区南１０条１丁目４－３０）<br>札幌市及び周辺の幼稚園、認定こども園、特別支援学級、特別支援学校 |
| ・九特連長崎大会<br>評議員会③ | １０月３０日（木） | ・九特連長崎大会の反省等<br>（会長、副会長、事務局長が参加） | 各所（オンライン開催） |
| ・第２回<br>運営委員会 | １２月１６日（火）<br>15:00～16:30 | ・第２回理事・第５回幹事研修会に向けての打ち合わせ | 県総合福祉センター<br>（佐賀市天祐1丁目８－５） |
| ・第２回<br>理事研修会<br>・第５回<br>幹事研修会 | １月９日（金）<br>15:00～16:30 | ・令和　７年度業務・会計に関する中間報告<br>・令和　８年度業務計画・予算案について<br>・機関誌「ともしび その６7」の発刊<br>・その他 | 県総合福祉センター<br>（佐賀市天祐1丁目８－５） |
| ・新年情報交換会 | １月９日（金）<br>19:00～21:00 | ・県特研、手をつなぐ育成会、知的障害者福祉協会、社会就労センター協議会の四者共催 | ホテルマリターレ創生<br>（佐賀市神野東2丁目5番15号<br>TEL 0952-33-5511） |
| ・会計監査 | ３月下旬 | ・令和７年度会計監査 | 中原特別支援学校 |

令和７年度　佐賀県特別支援教育研究会　一般会計　　**収支予算（案）**

**１　収入の部**　　（単位：円）

| 区　　分 | Ｒ７年度予算額ａ | Ｒ６年度予算額ｂ | 増減額ａ－ｂ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 負　担　金 | 434,010 | 441,830 | △ 7,820 | 1,955 円×　222 校=　434,010 |
| 県費補助金 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 寄　付　金 | 0 | 0 | 0 | |
| 活動補助費 | 0 | 170,000 | △ 170,000 | 特別会計より繰入<br>（活動補助50,000　研究調査120,000） |
| 雑　収　入 | 0 | 0 | 0 | 銀行利息等 |
| 繰　越　金 | 132,780 | 145,173 | △ 12,393 | Ｒ６年度残金 |
| 計 | 626,790 | 817,003 | △ 190,213 | |

**２　支出の部**

| 区　　分 | | Ｒ７年度予算額ａ | Ｒ６年度予算額ｂ | 増減額ａ－ｂ | 備　　考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 研究大会及び研修会 | 諸　謝　金 | 16,000 | 0 | 16,000 | 総会講師等<br>夏季研究大会 | 16,000<br>0 |
| | 旅　　費 | 3,000 | 3,000 | 0 | 総会<br>夏季研究大会 | 3,000<br>0 |
| | 資　料　費 | 10,000 | 5,000 | 5,000 | 総会<br>夏季研究大会 | 10,000<br>0 |
| | 賃　借　料 | 50,000 | 160,000 | △ 110,000 | 総会、理事・幹事会会場<br>夏季研究大会 | 50,000<br>0 |
| | 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 会　議　費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 消耗品費 | 6,000 | 6,000 | 0 | 総会、理事・幹事会等<br>夏季研究大会 | 6,000<br>0 |
| | 通信運搬費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 切手代・通信代 | |
| | 小　計 | 105,000 | 194,000 | △ 89,000 | | |
| 研究調査 | 諸　謝　金 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 旅　　費 | 60,000 | 120,000 | △ 60,000 | | |
| | 資　料　費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 賃　　金 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 会　議　費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 消耗品費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 通信運搬費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 小　計 | 60,000 | 120,000 | △ 60,000 | | |
| 研究成果刊行 | 旅　　費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 資　料　費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 印刷製本費 | 170,000 | 170,000 | 0 | 「ともしび」印刷費 | |
| | 会　議　費 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 通信運搬費 | 10,000 | 60,000 | △ 50,000 | 切手代・通信代 | |
| | 小　計 | 180,000 | 230,000 | △ 50,000 | | |
| 研究図書購入 | 資　料　費 | 5,000 | 5,000 | 0 | 職員録等 | |
| | 図書購入費 | 5,000 | 5,000 | 0 | 特別支援教育研究書等 | |
| | 小　計 | 10,000 | 10,000 | 0 | | |
| 計 | | 355,000 | 554,000 | △ 199,000 | | |
| 負担金 | 九特連負担金 | 54,000 | 50,000 | 4,000 | | |
| | 全特連負担金 | 150,000 | 150,000 | 0 | | |
| | スポーツ協会費 | 6,000 | 6,000 | 0 | | |
| | 小計 | 210,000 | 206,000 | 4,000 | | |
| 事務予備費 | | 61,790 | 57,003 | 4,787 | | |
| 合　計 | | 626,790 | 817,003 | △ 190,213 | | |

※九特連負担金　知的障害特別支援学級の設置数が4以下の学級 295学級×150円＝44,250円
　知的障害特別支援学級、特別支援学校の知的障害学級が５学級以上の学校 7校×750円＝5,250円　計49,500円
　振込手数料660円　合計50,160円
※全特連分担金　佐賀県下学級数539×250円＝134,750円、振込手数料417円　合計135,167円
Ｒ６実績で計算

令和７年度　佐賀県特別支援教育研究会　特別会計　**収支予算**（案）

**○特別会計趣旨**

**１　支出**

・夏季研究大会等の講師謝金、旅費、会場費等が多額になり、一般会計予算を超えた場合、その都度審議して特別会計から補填する。

・九特連・全特連大会への派遣費及び視察費（交通費、旅費、宿泊費等）の補助として使用する。

・自県で行われる大きな大会（全特連大会、九特連大会等）の運営費補助として使用する。

**２　収入**

・自県で開催した九特連・全特連の大会費（参加費）等の残金を特別会計の収入とする。

**１　収入の部**

（単位：円）

| 区　　分 | 本年度予算額ａ | 前年度予算額ｂ | 増減額ａ－ｂ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 繰　越　金 | 1,148,034 | 3,690,423 | △ 2,542,389 | 令和６年度特別会計より<br>（令和６年度九特連九情研佐賀大会残金<br>79,227円を含む） |
| 雑　収　入 | 0 | 30 | △ 30 | 銀行利息 |
| 合　　計 | 1,148,034 | 3,690,453 | △ 2,542,419 | |

**２　支出の部**

| 区　　分 | | 本年度予算額ａ | 前年度予算額ｂ | 増減額ａ－ｂ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 研究研修会 | 旅費 | 187,000 | 200,000 | △ 13,000 | 九特連大会（長崎県）<br>派遣旅費（会長） 15,000<br>派遣旅費（事務局長） 15,000<br>派遣旅費（提案者２名） 30,000<br>派遣旅費（助言者） 15,000<br>全特連大会（北海道）<br>派遣旅費（会長） 112,000 |
| 活動補助 | | 0 | 50,000 | △ 50,000 | Ｒ６：運営補助として（一般会計へ繰入）<br>Ｒ７：なし |
| 研究調査 | 旅費 | 0 | 120,000 | △ 120,000 | Ｒ６：研究調査旅費として（一般会計へ繰入）<br>Ｒ７：なし |
| 九特連佐賀大会 | 積立金 | 0 | 1,207,028 | △ 1,207,028 | 前回佐賀大会（H28）の残金<br>（Ｒ６九州地区特別支援教育研究連盟へ繰入） |
| | | 0 | 350,000 | △ 350,000 | 佐賀大会に向けた積立金（R2）<br>（Ｒ６九州地区特別支援教育研究連盟へ繰入） |
| | 準備金 | 0 | 100,000 | △ 100,000 | 九特連・九情研＜佐賀大会＞<br>実行委員会会場賃借料　等 |
| | 運営補助 | 0 | 700,000 | △ 700,000 | 九特連・九情研＜佐賀大会＞<br>実行委員等参加費、　県内参加者の参加費補助 |
| 合　　計 | | 187,000 | 2,727,028 | △ 2,540,028 | |

| | |
|---|---|
| 収入合計(A) | 1,148,034 |
| 支出合計(B) | 187,000 |
| 収支残高(A)-(B) | 961,034 |
| （繰り越し金） | |

※繰り越し金＝（総収入額）－（研究研修会支出）は次年度へ繰り越します。

# 県特研　事業・提案輪番について（Ｒ７年度　４月作成）

（１）提案発表者選出

○ 夏季研修会に秋季研究大会を統合し、名称を「夏季研究大会」とする（Ｈ２９年度より）。

○ 全特連大会、九特連大会の地区の提案発表担当（特別支援学校の輪番はこれまで通り）の輪番を一本化し、佐城５地区、唐津４地区、鹿嬉藤２地区、伊西２地区、三神３地区、杵武２地区の計 18 地区によるローテーションとする。

※ 全特連大会の提案予定で特別支援学級、特別支援学校のうち当たらなかった方は次の年度の提案発表に順送りする。また、大会によって予定より発表数が多かった場合は次の予定を繰り上げるなど、輪番どおりに進めていくことを基本とする。

| | | | | | | | | | R6 | R7 | R8 | R9 | R6 | R10 | R11 | R12 | R13 | R13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 地区 | 佐城 | 唐津 | 杵武 | 佐城 | 三神 | 鹿嬉藤 | 唐津 | 佐城 | 伊西 | 三神 | 唐津 | 佐城 | 杵武 | 鹿嬉藤 | 佐城 | 唐津 | 三神 | 伊西 |
| | ① | ① | ① | ② | ① | ① | ② | ③ | ① | ② | ③ | ④ | ② | ② | ⑤ | ④ | ③ | ② |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | | | | | | | | | | | |
| 特別支援学校 | 大和特支 | 佐大附属特支 | うれしの特支 | 伊万里特支 | 唐津特支 | 中原特支 | | | | | | | | | | | | |

Ｒ６佐賀大会で提案

※ 夏季研究大会の提案者等は開催担当地区事務局で計画するが、全特連大会や九特連大会発表の事前検討会と位置付け、全特連大会、九特連大会提案者の発表を考慮に入れる。

（２）大会開催担当地区について

・夏季研究大会の大会開催担当はこれまでどおり次の６地区の輪番で行う。

・九特連大会、全特連大会が佐賀県担当の年度はそれに替える。その際は、特別支援学校が事務局としての業務を行うため、大会開催年度の事務局のある地区と開催担当を入れ替える。

| 地区 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 唐　津 | 三　神 | 佐　城 | 伊　西 | 杵　武 | 鹿嬉藤 |

・地区と事務局（特別支援学校）の組み合わせは次のとおり。

・佐城地区、杵武地区と大和特別支援学校
・三神地区と中原特別支援学校
・鹿嬉藤地区とうれしの特別支援学校
・伊西地区と伊万里特別支援学校
・唐津地区と唐津特別支援学校

・事務局等の輪番について

| 年度 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 | R16 | R17 | R18 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西暦 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
| 会　長 | 伊西地区 | | 大和特支 | | 杵武地区 | | 中原特支 | | 三神地区 | | 唐津特支 | | 附属特支 | | 伊万里特支 | |
| 副会長 | 大和特支 | | 杵武地区 | | 中原特支 | | 三神地区 | | 唐津特支 | | 附属特支 | | 伊万里特支 | | 伊西地区 | |
| | 杵武地区 | | 中原特支 | | 三神地区 | | 唐津特支 | | 附属特支 | | 伊万里特支 | | 伊西地区 | | うれしの特支 | |
| 事務局 | 大和特支 | | | | 中原特支 | | | | 唐津特支 | | | | 伊万里特支 | | | |

| 年度 | R19 | R20 | R21 | R22 | R23 | R24 | R25 | R26 | R27 | R28 | R29 | R30 | R31 | R32 | R33 | R34 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西暦 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 |
| 会　長 | 伊西地区 | | うれしの特支 | | 鹿嬉藤地区 | | 大和特支 | | 佐城地区 | | 中原特支 | | 三神地区 | | 唐津特支 | |
| 副会長 | うれしの特支 | | 鹿嬉藤地区 | | 大和特支 | | 佐城地区 | | 中原特支 | | 三神地区 | | 唐津特支 | | 唐津地区 | |
| | 鹿嬉藤地区 | | 大和特支 | | 佐城地区 | | 中原特支 | | 三神地区 | | 唐津特支 | | 唐津地区 | | 伊万里特支 | |
| 事務局 | うれしの特支 | | | | 大和特支 | | | | 中原特支 | | | | 唐津特支 | | | |

会長担当の地区及び特別支援学校

三神・佐城・唐津・伊西・杵武・鹿嬉藤、中原・大和・唐津・伊万里・うれしの・附属

事務局（特別支援学校５校）

うれしの⇒大和⇒中原⇒唐津⇒伊万里⇒うれしの

（３）その他の確認事項

・全特連大会、九特連大会などは早くからの準備が必要であるため、事務局は任期終了までにその後８年間の輪番計画を作成する。また、不都合が予想される場合は、早めに検討を行い、変更を周知する。

夏季研修大会について

・夏季研究大会は、九特連大会、九情研大会、九難言大会等が開催される場合はそれに替える。
・夏季研究大会は、夏季休業中に行う。基本スタイルは講演会と分科会とする。
・分科会については、
　①小学校　②中学校　③特別支援学校　④自閉症・情緒障害
　⑤ＬＤ・ＡＤＨＤ等　とする。（開催地区裁量で変更もあり）
・①②③については、九特連大会のプレ発表とする。
・講演については、担当地区で講師を探し、本人からの内諾を得る。その後、県特研事務局が講師派遣依頼書を所属先に、講演依頼文書を本人宛に出す。
・県特研事務局が佐賀県教育委員会、開催地区教育委員会に対して後援依頼を出す。
・案内については開催地区事務局が作成し、県特研事務局が、県内市町立小・中学校及び県内特別支援学校、県内教育事務所、県内市町教育委員会に出す。

※佐賀県教育委員会には、総会のみ案内を出す。研究大会については案内を出さなくてよい。
（Ｈ２９年度県教委より）

※県特研事務局が行うこと⇒県特研会長の印鑑（角印）を必要とする文書の作成（講演依頼文書、提案者依頼文書、助言者依頼文書等）
※開催地区事務局が行うこと⇒県特研事務局が行う以外のこと

**・原則として、①②の運営については開催地区事務局が行うが、必要に応じて県特研事務局も運営会議には参加するものとする。③の運営については開催地区にある特別支援学校が行う。④⑤の運営については研究会が運営を行うものとする（各研究会の事情により地区の研究会担当者が行ってもよいものとする）。**

・運営スタッフについては、開催地区が担当する。
・運営スタッフの割り振りについては、開催地区事務局が行う。
・「ともしび」に掲載するため、講演会要旨、分科会要旨を開催地区でまとめる。
※講演会要旨については、まとめた後、講師に確認をしていただき、「ともしび」に掲載していいかの了解を得ておく（開催地区事務局が行う）。
※分科会要旨についても、助言者・提案者に「ともしび」掲載の了解を得ておく。
※分科会要旨については、２ページ以内に収めるように努める。
※余白を、左右上下２０mmにしておく。

（４）上記（１）及び（２）に基づく令和３年度～令和１８年度までの計画

**Ｒ１０までの計画は提案済みであるため、Ｒ１１からの輪番については、**
**これまでの　大和➡附属➡うれしの➡伊万里➡唐津➡中原　の輪番に戻すこととする。**

| 大会＼年度 | | Ｒ３ | Ｒ４ | Ｒ５ | Ｒ６ | Ｒ７ | Ｒ８ | Ｒ９ | Ｒ１０ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全特連大会 | 開催担当 | 近　畿（和歌山） | 東　北（秋田） | 中国四国（徳島） | 東海北陸（福井） | 北海道（札幌） | 関東甲信越 | 九州（熊本） | 近畿 |
| | 佐賀県発表担当 | | | | 伊西① | | | 佐城④<br>中原特支 | |
| 九特連大会 | 開催担当県 | 熊本 | 沖縄 | 福岡 | 佐賀<br>佐城<br>大和特支 | 長崎 | 大分 | 全特連大会 | 宮崎 |
| | 発表担当 | 鹿嬉藤①<br>大和特支 | 唐津②<br>附属特支 | 佐城③<br>中原特支 | 杵武② | 三神②<br>伊万里特支 | 唐津③<br>唐津特支 | 佐城④<br>中原特支 | 鹿嬉藤②<br>大和特支 |
| 九情研大会 | | 福岡 | 沖縄 | 長崎 | 佐賀 | 大分 | 熊本 | 鹿児島 | 宮崎 |
| 九難言大会 | | 宮崎 | 鹿児島 | 長崎 | 沖縄 | 熊本 | 佐賀 | 福岡 | 大分 |
| 県大会及び夏季研開催担当 | | ~~杵 武~~<br>↓<br>中止 | 鹿嬉藤 | ~~九特連大会準備のため~~ | 九特連大会<br>佐　城<br>大和特支<br>九情研大会 | ~~Ｒ３より２年に１回~~ | 九難言大会 | ~~Ｒ３より２年に１回~~ | 唐津 |
| 県特研事務局 | | 大和特別支援学校 | | | | 中原特別支援学校 | | | |

| 大会＼年度 | | Ｒ１１ | Ｒ１２ | Ｒ１３ | Ｒ１４ | Ｒ１５ | Ｒ１６ | Ｒ１７ | Ｒ１８ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全特連大会 | 開催担当 | 東　北 | 中国四国 | 東海北陸 | 関東甲信越 | 九州（大分） | 近畿 | 東北 | 中国四国 |
| | 佐賀県発表担当 | | | 三神③<br>伊万里特支 | | 三神①<br>うれしの特支 | | | |
| 九特連大会 | 開催担当県 | 鹿児島 | 沖縄 | 福岡 | 佐賀<br>唐津<br>唐津特支 | 大分 | 長崎 | 熊本 | 宮崎 |
| | 発表担当 | 佐城⑤<br>附属特支 | 唐津④<br>うれしの特支 | 伊西②<br>唐津特支 | 中原特支<br>大和特支<br>附属特支<br>佐城①<br>唐津①<br>杵武①<br>佐城② | 三神①<br>うれしの特支 | 鹿嬉藤①<br>伊万里特支 | 唐津②<br>唐津特支 | 佐城③<br>中原特支 |
| 九情研大会 | | 福岡 | 沖縄 | 長崎 | 佐賀 | 大分 | 熊本 | 鹿児島 | 宮崎 |
| 九難言大会 | | 宮崎 | 鹿児島 | | | | | | |
| 県大会及び夏季研開催担当 | | ~~Ｒ３より２年に１回~~ | 三神 | ~~Ｒ３より２年に１回~~ | 九特連大会<br>唐津<br>唐津特支 | ~~Ｒ３より２年に１回~~ | 佐城 | ~~Ｒ３より２年に１回~~ | 伊西 |
| 県特研事務局 | | 唐津特別支援学校 | | | | 伊万里特別支援学校 | | | |

○ 大会開催担当について

※ 事務局が任期終了時に８年後までの計画を示すことで、見通しを持った準備ができるようにしておく。

【参考】 ・例年、全特連大会での提案は九州から２県が当たり、４年ごとに回ってくることになり、特別支援学級か特別支援学校のうちのいずれかの提案となる。年度により九州の３県が当たって３年後に輪番が回ってきた年もある。

・他県で開催される九特連大会での提案は特別支援学級と特別支援学校が１つずつ担当する。

**※夏季研究大会の服務の取扱いについて（R元年７月２０日特別支援学校　校長会にて）**
**➡出張か校外研修か、いずれの取り扱いとするかは各学校長の判断とする。**

（５）その他の確認事項

○九特連大会・全特連大会の提案等の輪番について

①提案者：基本ローテーション（別紙参照）による。

②司会者：県特研事務局より１名を出す。

③助言者：事務局が県教育振興課指導主事に依頼する。

| 年　　度 | 小中学校分科会 | 特別支援学校分科会 | 開催県 |
|---|---|---|---|
| 令和　３年度 | 教科別の指導<br>鹿嬉藤① | 作業学習・進路指導<br>大和特別支援学校 | 熊本県 |
| 令和　４年度 | 生活単元学習<br>唐津② | 教科別の指導<br>佐大附属特別支援学校 | 沖縄県 |
| 令和　５年度 | 日常生活の指導<br>佐城③ | 生活単元学習<br>中原特別支援学校 | 福岡県 |
| | | | 徳島県<br>全特連 |
| 令和　６年度 | 各教科等を合わせた指導<br>杵武② | | 佐賀県 |
| | 通常学級における合理的配慮<br>伊西① | | 福井県<br>全特連 |
| 令和　７年度 | 開催県が独自に設定<br>・発達障害への指導支援<br>三神②　中原中学校 | 各教科等の指導（小学校段階）<br>伊万里特別支援学校 | 長崎県 |
| 令和　８年度 | 開催県が独自に設定<br>・交流および共同学習<br>唐津③ | 開催県が独自に設定<br>・発達障害への支援<br>唐津特別支援学校 | 大分県 |

【今後の提案割り当て】

| 年度・開催県／分科会 | Ｒ６<br>佐賀 | Ｒ７<br>長崎 | Ｒ８<br>大分 | Ｒ９<br>熊本 | Ｒ１０<br>宮崎 | Ｒ１１<br>鹿児島 | Ｒ１２<br>沖縄 | Ｒ１３<br>福岡 | Ｒ１４<br>佐賀 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①各教科等の指導（小学校段階） | | 伊万里特支 | | | | | | 伊西② | 中原特支<br>大和特支<br>附属特支<br>佐城①<br>唐津①<br>杵武①<br>佐城② |
| ②各教科等の指導（中学校・高等学校段階） | | | | | | | 唐津④ | 唐津特支 | |
| ③各教科等を合わせた指導 | 杵武② | | | 佐城④ | | | うれしの特支 | | |
| ④キャリア教育・進路指導 | | | | 中原特支 | | 佐城⑤ | | | |
| ⑤自立活動 | | | | | 鹿嬉藤② | 附属特支 | | | |
| ⑥開催県が独自に設定 | | | 唐津③ | | 大和特支 | | | | |
| ⑦開催県が独自に設定 | | 三神② | 唐津特支 | | | | | | |

※各教科等の指導については、小学校段階：小学校・小学部

中学校・高等学校段階：中学校・中学部、高等学校・高等部

**※Ｒ１４佐賀大会については、提案地区・学校を示しており、どの分科会を担当するかは、その都度決定する。**

# 県特研申し合わせ事項

令和　7年　4月　２５日

1　事業について

（1）夏季研究大会について

29 年度より従来の「夏季研修会」と「秋季（授業）研究大会」を統合し、「夏季研究大会」とする。

① 担当ローテーション（別紙参照）

② 大会旅費等について

・大会当日の発表者と指導助言者の旅費を大会の予算で賄うことを原則とする。
・大会の発表者、指導助言者の旅費の部分で予算オーバーが起こる時には、事務局と相談する。
・事前打ち合わせ会の旅費は、大会予算を使わない。（地区の会などでお願いしたい）
・大会補助については特別会計から出さない。29 年以降は検討する。

③ 講師謝金について

ａ．県職員には謝金は支給しない。謝金の代わりに弁当または手土産を渡している。

ｂ．謝礼の基準は次のようにする。

・大 学 教 授　…　６，０００円　（１時間あたり）
・大学准教授　…　５，０００円　（１時間あたり）
・一 般 講 師　…　４，０００円　（１時間あたり）

ｃ．旅費

・車利用の場合は、１㎞あたり２０円で計算する。
・県職員の旅費　…　勤務校からのキロ数×２０円で支給する。

④ その他

・九難言佐賀大会、九情研佐賀大会については、夏季研究大会を兼ねて実施する。
・Ｒ２より全特連大会、九特連大会の前年と翌年は、夏季研究大会を実施しない。（２年に１回）
・挨拶、来賓紹介等、開催地区が担当して行う。

（2）新年情報交換会について

・１月第２金曜日または第３金曜日に開催する。

（3）機関誌「ともしび」について

・年度内に発刊・配布する。

平成３１年度より、九特連大会や各種大会等の発表資料を持って研究報告とする。また、夏季研究大会の大会集録としての機能を持たせることにより、会員校の負担軽減とする。

~~（4）障害者スポーツ大会について~~

~~・５月と 10 月に開催~~
~~・全国障害者スポーツ大会県代表選考会は５月の日曜日に開催。~~
~~・県障害者スポーツ大会は、10 月開催予定~~
~~開会式は、県民体育大会、佐賀県障害者スポーツ大会、さがねんりんピックの合同となる。~~
~~参加資格 … ４月１日現在で６歳以上の者。ただしボウリング、卓球競技については 10 歳以上の者。~~
~~・大会要項は事務局より全会員校に送付する。~~
~~・これまでは、ゼッケンは事務局で保管・管理していたが、ゼッケン番号が個人のものとなったので、保管・管理については各学校で行う。⇒　管理・運営等は各校の体育科で行っている。~~

（5）総会について

・県内全小中学校に案内を出す。
学校から１名も参加できない場合は、委任状を提出してもらう。

（6）研究調査について

［目的］

・先進校視察等による情報収集
・特別支援教育についての問題提起の材料を探す

［調査方法］
① 医療的ケアや研究モデル校等の視察
② 研修会・研究会・セミナー等への参加
［手続き］
・年間１件（６月～１０月まで）で募集をかけ、旅費、宿泊費、参加費を含めて、１件につき、６０，０００円を上限とする。
・県特研事務局で審査をして決定をする
・研修後は報告書を作成し、機関誌「ともしび」に掲載をする

２　研究テーマについて
・県特研研究テーマは、４年毎に見直す。

**令和４年度～７年度テーマ**

**「共生社会の中で自分らしく主体的に活動する子どもの育成を目指して」**

３　事務局輪番について（別紙参照）
・事務局は特別支援学校５校で回し、任期は４年間とする。
・事務局後半２年間は事務局校の校長が会長となるようにする。

・事務局輪番

| 和暦 | H25～28 | H29～R2 | R3～R6 | R7～R10 | R11～R14 | R15～R18 | R19～R22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西暦 | 13～16 | 17～20 | 21～24 | 25～28 | 29～32 | 33～36 | 37～40 |
| 学校 | 伊万里 | うれしの | 大　和 | 中　原 | 唐　津 | 伊万里 | うれしの |
| 備考 | 九特連佐賀大会実施 | | 九特連佐賀大会実施 | | 九特連佐賀大会実施 | | 九特連佐賀大会実施 |

| 年号 | R23～R26 | R27～R30 | R31～R34 | R35～R38 | R39～R42 | R43～R46 | R47～R50 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西暦 | 41～44 | 45～48 | 49～52 | 53～56 | 57～60 | 61～64 | 65～68 |
| 学校 | 大　和 | 中　原 | 唐　津 | 伊万里 | うれしの | 大　和 | 中　原 |
| 備考 | | 九特連佐賀大会実施 | | 九特連佐賀大会実施 | | 九特連佐賀大会実施 | |

４　九特連大会・全特連大会の提案等の輪番について
（１）九特連大会について
① 提案者
・基本ローテーション（別紙参照）による。
② 司会者
・県特研事務局より１名を出す。
③ 助言者
・事務局が県教育振興課指導主事に依頼する。

（２）全特連大会提案者について（４年に１回程度）
① 基本ローテーション（九特連大会に同じ）
② 申し合わせ事項
・九州地区で全特連大会が開催された場合、九特連大会ローテーションを適用する。司会者、助言者についても同様。

５　九特連大会、全特連大会等の派遣費について
（１）提案者、司会者、助言者、会長について
・必要に応じて一般会計及び特別会計より支出する。
・助言者については、佐賀県教育委員会教育振興課特別支援教育室に依頼し、該当する分を支出する。
・派遣費として１泊２日分交通費、宿泊代または日帰り交通費、参加費を支出する。
（２）全特連功労賞表彰について
表彰者の派遣費は支出しない。

（３）その他

・提案者事前視察、応援者等の派遣費は支出しない。

6　大会補助について

・九難言佐賀大会、九情研佐賀大会を夏季研究大会と兼ねて実施する場合は、夏季研究大会の費用分を補助する。（１３万円）

7　会費について

・会費は市町法令外負担金申請を行い、決定通知を元にその金額を定める。
平成 22 年度～　１，９５５円

・特別支援学級設置学校及び特別支援学校において会費を負担するものとする。その際、分校は本校に含める。小中一貫校は、学校長毎に１校とカウントする。

8　表彰候補者推薦について

（１）全特連功労賞（１名）　… 前年度に三役、事務局で選出する。

（２）障がい児(者)の教育と福祉・就労振興研修佐賀県大会における感謝状（５名）

・前年度に割り当て地区、学校で選出する。（計画は下表のとおり）

・５名は、２地区の小中学校と３校の特別支援学校より１名ずつを推薦する。

| 年　度 | 推 薦 地 区 お よ び 特 別 支 援 学 校 | |
|---|---|---|
| 令和４年度 | 伊西地区、杵武地区 | 中原特別支援、金立特別支援、大和特別支援 |
| 令和５年度 | 唐津地区、鹿嬉藤地区 | 唐津特別支援、うれしの特別支援、附属特別支援 |
| 令和６年度 | 三神地区、佐城地区 | 伊万里特別支援、中原特別支援、金立特別支援 |
| 令和７年度 | 伊西地区、杵武地区 | 大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援 |
| 令和８年度 | 唐津地区、鹿嬉藤地区 | 附属特別支援、伊万里特別支援、中原特別支援 |
| 令和９年度 | 三神地区、佐城地区 | 金立特別支援、大和特別支援、唐津特別支援 |
| 令和１０年度 | 伊西地区、杵武地区 | うれしの特別支援、附属特別支援、伊万里特別支援 |
| 令和１１年度 | 唐津地区、鹿嬉藤地区 | 中原特別支援、金立特別支援、大和特別支援 |
| 令和１２年度 | 三神地区、佐城地区 | 唐津特別支援、うれしの特別支援、附属特別支援 |

9　今後の予定

| 平成年度 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 西暦年度 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 |
| 全特連大会 | 61<br>東　北<br>(秋田) | 62<br>中国四国<br>(徳島) | 63<br>東海北陸<br>(福井) | 64<br>北海道<br>(札幌) | 65<br>関東甲信<br>(新潟) | 66<br>九州<br>(熊本) | 67<br>近畿 | 68<br>東北 | 69<br>中国四国 |
| 九特連大会 | 56<br>沖　縄 | 57<br>福　岡 | 58<br>佐　賀 | 59<br>長崎 | 60<br>大分 | 61<br>熊本 | 62<br>宮崎 | 63<br>鹿児島 | 64<br>沖縄 |
| 九難言大会 | 46<br>鹿児島 | 47<br>長　崎 | 48<br>沖縄<br>(全難言) | 49<br>熊本 | 50<br>佐賀 | 51<br>福岡 | 52<br>大分 | 53<br>宮崎 | 54<br>鹿児島 |
| 九情研大会 | 50<br>沖　縄 | 51<br>長　崎 | 52<br>佐　賀 | 53<br>大分 | 54<br>熊本 | 55<br>鹿児島 | 56<br>宮崎 | 57<br>福岡 | 58<br>沖縄 |
| 九肢研大会 | 59<br>大分 | 60<br>鹿児島 | 61<br>熊本<br>(全肢研) | 62<br>佐賀 | 63<br>福岡 | 64<br>長崎 | 65<br>沖縄 | 66<br>宮崎<br>大分 | 67<br>鹿児島 |
| 九病連大会 | 62<br>鹿児島 | 63<br>福岡<br>(全病連) | 64<br>熊本 | 65<br>大分 | 66<br>宮崎 | 67<br>沖縄 | 68<br>長崎 | 69<br>佐賀 | 70<br>福岡 |

令和７年度　佐賀県特別支援教育研究会　**負担金納入について**

１．本会会費（負担金）は、１校あたり、**１，９５５円**（小中一貫校で校長が１名の場合の負担金は１校分納入）です。これは令和４年度「県内市町会法令外負担金」の制度に則っており、各市町教育委員会は、この金額を予算化することになっています。特別支援学校も、これに準じてお願いします。

２．納入方法は地区によって違います。下記を御覧になって、同封の書類をご確認の上、手続きをお願いします。なお、地区は令和５年４月１日時点での市町村合併状況によっています。

３．納入締め切り：令和７年７月１１日（金）

４．問い合わせ先：佐賀県特別支援教育研究会　事務局
佐賀県立中原特別支援学校内（会計担当　河野）
〒８４９－０１０１　三養基郡みやき町大字原古賀 7262－1
TEL（０９４２）９４－３５７５　FAX（０９４２）９４－４２２３

記

| 分類 | 地区または学校 | 納　入　方　法 | 封筒に入れている書類 |
|---|---|---|---|
| A | 鳥栖市、佐賀市<br>多久市、武雄市、<br>唐津市、玄海町<br>白石町 | 市役所や町役場へ事務局より一括して請求書を送ります。各学校での納入手続きは特に必要ありません。 | 本状以外はありません。 |
| B | 〔伊西〕伊万里市<br>・西松浦郡地区<br>〔鹿嬉藤〕鹿島市<br>・嬉野市・藤津郡<br>地区 | **地区の**事務局で集金して一括納入してもらいます。学校の事務室に請求する前に、地区の研究会の会合等で、方法を確認してください。 | ①学校長あて納付依頼書<br>②請求書を同封してない旨の説明書 |
| C | 上記Ａ、Ｂ以外の<br>地区（三養基郡、<br>神埼郡、神埼市<br>杵島郡、小城市） | 学校毎に納付依頼書と請求書を学校の事務室に提出し、事務室から市や町の役場に請求してもらう。<br>＊神埼市・みやき町・小城市は、担当校が一括納入 | ①学校長あて納付依頼書<br>②請求書 |
| D | 上峰小、上峰中 | 上記Ｃの地区の中で、特に別資料を必要とする学校 | ①　納付依頼書<br>②　請求書<br>③　事務局通帳コピー |
| E | 特別支援学校 | 納付依頼書と請求書を学校の事務室に提出し、事務室から納入してもらう。 | ①　学校長あて納付依頼書<br>②　請求書 |

# 県特研より推薦の表彰候補者について

**（1）令和６年度表彰者**

| | 氏　　名 | 所　属　・　職　名 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 1 | いしい　あや<br>石井　彩 | 三神地区（千代田中部小学校・教諭） | ７月２８日（日）<br>鹿島市民文化ホール（サクラス） |
| 2 | き だ　けいじ<br>木田　啓二 | 佐城地区（小中一貫校松梅校・教諭） | |
| 3 | かねこ　としあき<br>金子　俊昭 | 伊万里特別支援学校　教諭 | |
| 4 | かわさき　しんいち<br>川崎　新一 | 中原特別支援学校　教諭 | |
| 5 | もとおり　ゆみこ<br>本告　由美子 | 金立特別支援学校　教諭 | |

①第６５回知的障害児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会での感謝状贈呈（５名推薦）
※特別支援教育通算１０年以上の先生
※表彰候補者は昨年度末に推薦していただいておりますのでその当時の在籍校を記しております。

②全特連功労賞表彰

| | 氏　　名 | 所　属　・　職　名 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 1 | あそう　しゅんいち<br>麻生　俊一 | 前唐津特別支援学校・校長 | １１月２１日（木）、２２日（金）<br>全特連福井大会にて |

**（2）令和７年度表彰候補者推薦**

| | 氏　　名 | 所　属　・　職　名 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 1 | いぬやま　やすこ<br>犬山　泰子 | 伊西地区（有田中部小学校・教諭） | ７月２７日（日）<br>伊万里市民センター |
| 2 | ばば　せいこ<br>馬場　聖子 | 杵武地区（橘小学校・教諭） | |
| 3 | じんのうち　あや<br>陣内　綾 | 大和特別支援学校・教諭 | |
| 4 | ほった　もとこ<br>堀田　素子 | 唐津特別支援学校・教諭 | |
| 5 | ひさの　やすこ<br>久野　泰子 | うれしの特別支援学校・教諭 | |

①第６６回知的障害児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会での感謝状贈呈（５名推薦）
※特別支援教育通算１０年以上の先生
※表彰候補者は昨年度末に推薦していただいておりますのでその当時の在籍校を記しております

②全特連功労賞表彰者推薦

| | 氏　　名 | 所　属　・　職　名 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 1 | まつの　ひろふみ<br>松野　博文 | 元伊万里市立大坪小学校・校長 | １０月２３日（木）、２４日（金）<br>全特連北海道大会にて |

# 令和７年度　機関誌「ともしび　その６７」の作成について

１　編集目的
（１）各学校、地域の情報を交換し、特別支援教育の啓発に役立てる。
（２）研究の実践記録や資料を整理し、教育実践に活用する。

２　編集要項　全４０ページ（ページ数は若干の増減可）

| 項　　目 | | 内　　容 | 頁数 | 原稿執筆者 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 表　紙　絵 | 0000 | 児童・生徒作品 | | 三神支部 | 写真データ |
| 目　　次 | 0001 | 目　次 | 1 | 県特研事務局 | 表紙の裏に掲載 |
| あ　い　さ　つ | 001 | 佐賀県特別支援教育研究会 | 1 | 県特研会長 | |
| 全特連功労者表彰 | 002 | 受賞に寄せて | 1 | 功労賞受賞者 | 原稿依頼 |
| 大会及び研修会報告 | 003 | 総会及び研修会 | 2 | 県特研事務局 | |
| 各種大会参加報告 | 004 | 全特連北海道大会 | 4 | 県特研事務局 | |
| | 005 | 九特連長崎大会 | １０ | 〃 | |
| | 006 | 九難言熊本大会 | 1 | 佐難言事務局資料提供 | 発表等、大会参加の資料や原稿があれば、執筆者の許可を取りそのまま掲載 |
| | 007 | 九情研大分大会 | 6 | 佐情研事務局資料提供 | |
| | 008 | 九肢研佐賀大会 | 1 | 金立特支より資料提供 | |
| | 009 | 九病連大分大会 | 1 | 中原特支より資料提供 | |
| 実践・研修報告 | | 各地区での研究会、視察等 | 1 | | |
| 業　務　報　告 | 010 | 本　　部 | 1 | 県特研事務局 | |
| | 011 | 支部　三　神 | 1 | 三神地区幹事 | |
| | 012 | 支部　佐　城 | 1 | 佐城地区幹事 | |
| | 013 | 支部　唐　津 | 1 | 唐津地区幹事 | |
| | 014 | 支部　伊　西 | 1 | 伊西地区幹事 | |
| | 015 | 支部　杵　武 | 1 | 杵武地区幹事 | |
| | 016 | 支部　鹿嬉藤 | 1 | 鹿嬉藤地区幹事 | |
| | 017 | 佐賀県難聴・言語教育研究会 | 1 | 佐難言事務局 | |
| | 018 | 佐賀県情緒障害教育研究会 | 1 | 佐情研事務局 | |
| | 019 | ＬＤ・ＡＤＨＤ等教育研究会 | 1 | LD･ADHD等研究会事務局 | |
| 資　　料 | 020 | 佐賀県の特別支援教育の現状 | 2 | 県特研事務局 | |
| | 021 | 会則 | 2 | 〃 | |
| | 022 | 役員名簿 | 1 | 〃 | |
| 編　集　後　記 | 023 | 編集後記 | 1 | 〃 | |

３　配布先及び冊数

| | | | |
|---|---|---|---|
| 特別支援学級･通級指導教室設置校 | 各学校１ | 佐賀県手をつなぐ育成会 | 1 |
| 特別支援学校（７校） | 7 | 佐賀県知的障害者福祉協議会 | 1 |
| 県立盲学校 | 1 | 佐賀県社会就労センター協議会 | 1 |
| 県立ろう学校 | 1 | 表彰等寄稿者（７人） | 7 |
| 県教委教育振興課特別支援教育室 | 1 | 表紙絵採用者（佐城支部児童生徒） | 1 |
| 教育センター | 1 | 県特研事務局保存用 | 2 |
| 教育事務所（東部・西部・北部支所） | 3 | | |

２３３＋７＋１０＋７＋１＋２＝２６０　２７０部くらい

４　原稿執筆要領　別紙にて原稿執筆者にお知らせいたします。
５　原稿締め切り　令和７年１１月１４日（金）１７時
６　原稿提出先　　佐賀県立中原特別支援学校内　県特研事務局
７　配付について　年度内に配布（１月理事・幹事研修会の折に配布予定）と郵送

スケジュール

| | | |
|---|---|---|
| 10/16 | 事務局 | 第４回幹事研修会にて「ともしび　その６７」制作伝達<br>古川総合印刷に電話連絡打ち合わせ |
| 11/14<br>～ | 各地区研究会<br>原稿執筆者 | 原稿事務局提出締め切り<br>原稿チェック、編集 |
| 11/25～ | 事務局 | 印刷会社に連絡、原稿提出（ＵＳＢデータ、紙媒体）<br>印刷会社と校正やり取り　例年２～３回校正 |
| 12/2 | 事務局 | ２校正を印刷会社に提出⇒印刷に入る |
| 1/6 | 事務局 | 冊子完成・納品、各地区等、仕分け、配布準備 |
| | 事務局会計 | 支払い |
| 1/9 | 事務局 | 第２回理事第５回幹事研修会にて各地区、各校に配布 |

# 機関誌「ともしび」原稿執筆要領

1　記入要領

（1）原稿形式

①原稿サイズ：Ａ４版縦長

②文字・行数：特に指定なし（できるだけ標準的なものでお願いします）

③文字サイズ：特に指定なし（できるだけ標準的なものでお願いします）

**④余白：上下左右各２０ミリメートル**（厳守してください）

（2）表記の要領

①原則として、常用漢字及び現代仮名遣いを用いてください。

②数字の表記は、算用数字の使用を原則とします。

**③読点は、「、」を用いてください。**

④児童・生徒の実態や障がいの内容等を記入する際は、慎重な配慮をお願いします。
また、写真や作品等についても必ず了承を得てください。

（3）文献の引用に際しての注意事項

①引用文の最後の文字の後ろに、１）、２）、３）…と引用した順番に入れてください。

②文献名は、最終ページの末尾に次の要領で入れてください。

※著者名（編者名）　書名　引用ページ　発行所　発行年（西暦）

（4）その他

①予定のページ数にできるだけ収まるようにお願いします。

②原稿をそのまま掲載しますので、十分な校正を行って提出してください。

**③講演記録等は意味が通るように言葉を補うなどし、講演者等にも必ず確認をしてもらい、提出してください。**

**④写真は、できるだけ同じページにまとめ、写真掲載の確認もお願いします。**

**⑤印刷製本の都合上、余白の数値の厳守をお願いします。**

2　原稿の提出方法　　郵送またはＥメール送信

①郵送の場合：用紙及びＣＤ－ＲＯＭ等データも添えて提出してください。

②Ｅメール送信の場合：添付ファイルにて原稿データを送信してください。

3　原稿の最終提出期限　　**令和７年１１月１４日（金）１７時**

4　原稿の提出先　　〒849-0101　三養基郡みやき町大字原古賀 7262－1
佐賀県立中原特別支援学校　教諭　梶原　ミサ
ＴＥＬ0942-94-3575　　ＦＡＸ0942-81-8002
E-mail：kajihara-misa@education.saga.jp

5　その他

① **データ処理、印刷に時間がかかりますので早めの提出をお願いします。（随時受け付けます。）**

② 第２回理事第５回幹事研修会（1月）での配布を考えております。

佐賀県特別支援教育研究会会員 様

# 県特研事業「研究調査」についてのお知らせ

事業の目的

・県教委主催・後援以外での、研修会・研究会・セミナー等へ参加し、特別支援教育についての問題提起の材料を探す。

・先進校視察（医療的ケアや研究モデル校等の視察）による情報収集を行う。

規定

・年間1件（6月～10月まで）で募集をかける。（機関誌「ともしび」掲載のため）

・旅費、宿泊費、参加費等を含めて、1 件、60,000円を上限とする。

・近県であれば 60,000円の上限内で、数か所に分けて行くことを可能とする。

・事務局で審査をして、研修者を決定する。

・研修後は報告書を作成し、県特研機関誌「ともしび」に掲載をする。

・10年計画で、5 年で見直しをする。(令和 6 年度～)

手続きからの流れ

①所属長を通して申し込みをする

※申し込み締め切り:6 月 30 日

※締め切りを過ぎた場合は先着順とする。

②事務局にて審査をする。（研修内容について確認の連絡をすることもあります）

③旅費等を算出して参加者に渡す。

④研修終了後、報告書を事務局に提出する。

※研修終了後、興味を持たれた学校や職員の方より、資料・情報の提供等の問い合わせがあるかもしれませんので、資料等の管理をお願いします。

県特研事業「研究調査」申込書 様式

# 県特研事業「研究調査」 視察・研修等 申込書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 所属校 | 学校名 | | | |
| | 住所 | 〒 | | |
| | TEL | （　　）　　－ | | |
| 所属長名 | | | | |
| 研修者氏名・職名 | （ふりがな） | | 職名 | |
| 研修希望時期 ✔ | 6月～10月 | （　　月） | | |
| 研修内容<br>・先進校視察<br>・研修会セミナー参加<br>・その他 | | | | |
| 研修場所<br>（施設・会場等） | | | | |

※申し込み締め切り：6月30日まで

※締め切りを過ぎた場合は先着順とします

提出は県特研事務局(中原特別支援学校内)梶原まで

Kajihara-misa@education.saga.jp

# 令和７年度　佐賀県特別支援教育研究会総会及び研修会アンケート

本日の総会及び研究会へのご参加ありがとうございました。

今回の総会及び研修会につきましてご意見やご質問、お気づきの点などをいただき、今後の参考にさせていただきたいと考えております。大変恐れ入りますが、下記の URL 又は QR コードからアンケートにご回答いただきますようお願いいたします。ぜひ、皆様の貴重なご意見をお聞かせください。

ご多忙の中恐縮ですが、**6 月 13 日（金）まで**にご回答を返送していただきますようお願いいたします。

https://forms.office.com/r/1y7Fvjpei1